

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	令和3年度益田市学校給食共同調理場運営委員会
開催日時	令和3年3月29日(金)
開催場所	書面
委員	青木恵利子委員、片野陽子委員、吉村里恵委員、松本徹委員、林衛委員、田原俊輔委員、池口由里恵委員、野村美夜子委員、竹田広樹委員、吉田仁美委員、桐木俊始委員、大崎弘康委員、田原啓文委員
議題	議案については、審議経過のとおり
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	書面決議のため
傍聴人の数	-名
審議経過	<p>益田市学校給食共同調理場事業について審議を行った。</p> <p>1 令和3年度事業報告（承認）</p> <p>① 栄養教諭等の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の指導 145回(前年 112回) ・今年度の新たな取組として、全受配校に対して付き1回程度、給食時間に栄養教諭、学校栄養士が訪問し、短時間指導を行った。 ・益田市農林水産課益田翔陽高校と連携し、翔陽高校GAP米、じゃがいもを給食の食材として提供。 <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の時代、親と子どもの時間が少ないため、この食材は骨をつくるものだとか、分かりやすく説明をされていて、栄養教諭等の活動には感謝でしかない。 ・保小の連携では、学校給食の試食体験や栄養教諭の方お話しなど、園児の皆さんにとってもとてもよい体験になっていると思う。引き続きお願いしたいと思っている。 ・外国の食事は珍しい味もあり楽しみにしていると子ども達から聞いている。 <p>②地産地消の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消率 高津 65.87% (2月末時点) 美都 72.28% (2月末時点) ・新たな取組として、高津センターにおいて益田市の特産の生トマトを使用。 <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の産物の使用に努められていることがわかる。 ・地産地消に取り組みされていて、児童・生徒の皆さんも郷土愛が給食によっても深まるのではないかと感じてい

	<p>る。</p> <p>③ 異物混入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立提供中止 2 件（2 件とも調理場内からの混入ではなく、原料由来の混入であった） ・保健所立入調査 1 件（原料由来または現地からの由来と思われる） ・マニュアルに応じて対応。 <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表を見ても分かる様に、年々減少していて給食センターの方々が細心の注意をされていて頭が下がる。 <p>④ 学校給食にかかる衛生管理研修の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年 3 月の春休みと 8 月の夏休みに開催。 ・合わせて約 200 名の方が参加。給食関係者で安全に対する意識統一が図られた。 <p>2 令和 4 年度事業計画（承認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各取組を実施していく。 ・新たな取組として、世界の国の料理を取り入れた「世界の味めぐり献立」全国の郷土料理を取り入れた「日本全国味めぐり献立」を隔月で実施していく。 <p>3 給食費の改定について（承認）</p> <p>先月開催の教育委員会定例会にて、改定について決定。</p> <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費はこれまで他の自治体に比べても安く努力していただけなのがわかる。値上げも理解できる。 <p>4 その他</p> <p>[意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の大切さのお勉強は命を守る力になり大事と考えている。日々努力して頂き感謝している。 ・児童で給食をいつもおかわりしているという話を聞く。中学生になってもしっかりと食べて成長してほしいと思っている。
問合せ先	教育部教育総務課 電話 31-0441